

現場見学会報告		整理番号			
工事名	東京港臨港道路南北線10号地その2地区接続部及び沈埋函(7号函)製作・築造工事				
発注者	国土交通省 関東地方整備局				
施工者	東京港臨港道路南北線工事_大成・五洋・大豊JV	見学日	2018/8/2	参加者	12名

プロジェクト概要及び当工区の特徴

【プロジェクト概要】

将来、東京港での外貿コンテナ貨物と内貿ユニット貨物の大幅な増加が見込まれることから、これに対応するための東京港およびその周辺の円滑な道路ネットワーク整備が喫緊の課題となっている。本工事は第二航路海底トンネルへの交通集中を回避する目的で、2020年東京オリンピック競技会場へのルート確保のため南北道路トンネルを新設するものである。

南北道路トンネルは、沈埋トンネル工法により構築される海上部(延長930.8m)、ニューマチックケーソン工法で構築される2箇所の接続部(延長35.0m)、開削トンネル工法で構築されるアプローチ部(延長561.7mと同572.0m)と地上部(延長230.0mと同95.0m)で構成される総延長約2,460mの道路建設プロジェクトである。

【当工区の特徴】

当工区ではニューマチックケーソンによる立坑構築と沈埋函1函の製作沈設、それに伴う工事を行うもので、現在、沈埋函の一次曳航、仮置に向け、艀装と、仮護岸工事をやっている。

- 2020年東京オリンピック競技会場へのルート確保のための急速施工
- ニューマチックケーソン(掘削面積1187㎡、深さ31.7m)による立坑構築
- 世界最大規模かつ前例のない曲線線形のフルサンドイッチ構造の沈埋函の製作・沈設

参考図



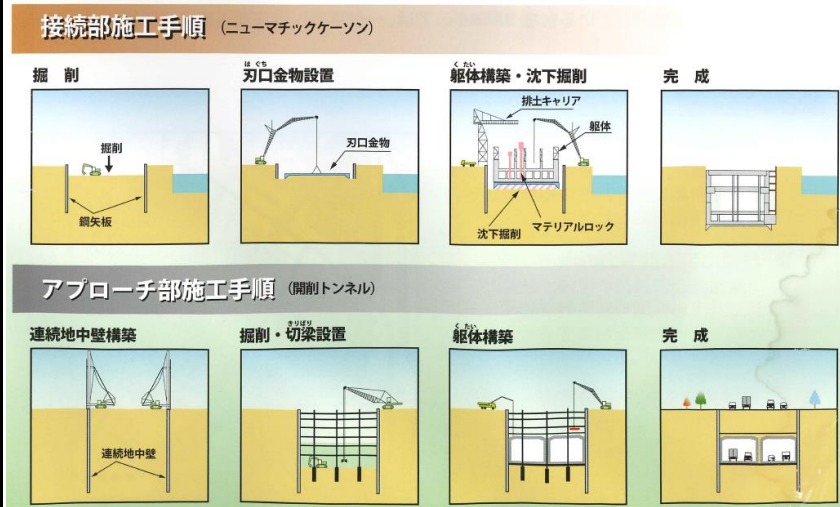
海上部(沈埋函 最終継手:キーエレメント)



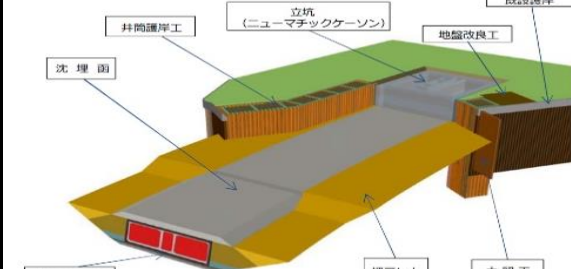
接続部(ニューマチックケーソン)築造



アプローチ部築造



※出典:東京港臨港道路南北線工法協議会パンフレット



沈埋函体製作状況 出典:日本経済新聞(三井造船)

動画 > <https://www.nikkei.com/article/DGXZZO1851833005072017000000/>

施工概要図(大成・五洋・大豊JV工区)



写真



現場全景(1)



現場全景(2)



現場の所長・工事長・監理技術者による工事説明



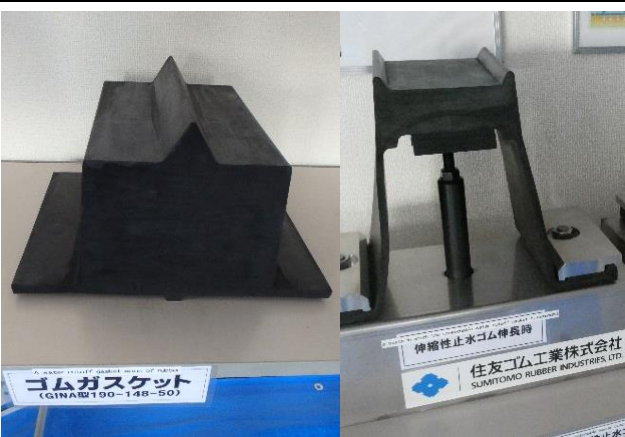
意見交換



プレゼンテーションルーム視察



VRシミュレータ体験



沈埋トンネル用ゴムガスケット&伸縮性止水ゴム



見学者 集合写真